

議会だより

# こさか



33歳・42歳・62歳合同の年祝い会

1. 12月定例会  
補正予算の主な内容 P2 ~ 3
2. 議案一覧・委員会報告 P4 ~ 5
3. 一般質問 (5議員登壇) P5 ~ 10
4. 第17回議会報告会の  
要望事項に対する回答 P11 ~ 12

2012年度  
vol. 64  
平成25年2月10日発行



幻想的な十和田湖冬物語

# 609万4千円を減額し 総額47億7,241万5千円に

平成24年第6回小坂町議会定例会が12月11日から18日まで8日間の会期で開かれ、平成24年度一般会計補正予算、条例の一部改正など議案15件が原案通り可決されました。

## 秋田県町村電算システム 共同事業組合設立

秋田県町村会では、県内各町村の行政事務に係わる電算システムの費用低減化や業務の標準化をはかるため、平成21年度から町村長による研修や電算共同化に向けた調査研究を進めてきました。平成24年2月の町村会理事会で、県内全12町村で共同化に取り組むことを決定しました。

共同化は、各町村で現在、個別に導入・運用・改修・開発している様々な業務の情報システムについて、集約化をはかり、共同利用することで経費の節減をはかるうとするものです。

この業務を担う運営組織については、県内全12町村が構成員となり「秋田県町村電算システム共同事業組合（一部事務組合）」として、平成25年4月の設立を目指しています。

### 小坂町は 29年度から参加

町村によっては平成25年度から参加するところもありますが、小坂町は平成24年度に独自のシステムの運用を開始しており、そのリース期間が平成28年度に終了することから、共同化システムへの参加は平成29年度を予定しています。

現在、住民情報関連、国保、年金、税業務、福祉業務などの機関系と財務会計、人事給与などの内部情報系、合わせて52業務について協議を進めています。

### 質疑応答

**成田議員** 共同化についての予算はいつ頃議会に説明するのか。

**総務課長** 現在協議中であ

り、試算後になります。  
**成田議員** クラウド方式だけで大丈夫か。今使っているサーバーは今後どうなるのか。

**総務課長** 現在使用しているサーバー等はリースによるもので、5年間が過ぎると返還になりますが、非常時、災害時を考えると、ある程度町でもデータを管理しておかなければならないと考えています。  
**成田議員** 入金や住民票をとるのにコンビニを使う考えはないか。  
**総務課長** 税の支払い等については、来年4月からコンビニ収納を開始することで準備を進めています。その他の諸証明等についての



電算システム共同化への参加を決定（役場本庁舎）

### 一般会計 補正予算

### 質疑応答

**亀田議員** 飼料米への補助金は認定農業者のみか。  
**観光産業課長** 鹿角市と同様にとの指摘がありましたので、今回はそのとおりの補正をしています。

**亀田議員** まずは鹿角市と足並みをそろえてから、認定農業者以外の農家も含めると要望したはずである。  
飼料米は全量ポークランドグループへいつている。町の産業育成に農家も協力している。全農家を対象に3月で補正する考えはないか。

**町長** 補正します。  
**目時議員** 農業問題について、生産調整はどうなっているか。

対応は今後内部で協議します。  
**鹿兒島議員** 当町が参加するまでに、これまで独自でやっていた場合の経費、新たなシステムになるときの経費の比較を出してほしい。共同化にならない独自の事務への対応についても整理して出してほしい。



# 補正予算の主な内容

## ◇総務費

・生活バス路線維持費補助 ..... 1,085万円

## ◇民生費

・国民健康保険特別会計繰出金 ..... △224万円

・介護保険事業特別会計繰出金 ..... 487万円

## ◇衛生費

・簡易水道事業特別会計繰出金 ..... 105万円

## ◇労働費

・再就職緊急支援奨励金 ..... 150万円

## ◇農林水産業費

・水田利活用向上対策事業 ..... 169万円

・2号トンネル採草放牧地排水施設補修 ..... 180万円

・鹿倉ダム浚渫工事 ..... 114万円

・万谷地区基盤整備事業負担金 ..... △1,300万円

・森林整備地域活動交付金 ..... 114万円

## ◇商工費

・産業振興施設整備費補助 ..... 1,000万円

・秋田県経営安定資金保証料補給 ..... △200万円

・韓国ドラマサポート負担金 ..... 109万円

## ◇土木費

・住宅リフォーム緊急支援事業 ..... 100万円

・新遠部線道路改良事業 ..... △522万円

・新町中小坂線道路改良事業 ..... △668万円

・苦竹山崎線外道路舗装 ..... △2,115万円

・新町山崎線外流雪溝設置事業 ..... △1,406万円

## ◇教育費

・新総合教育エリア整備事業（学校備品運搬業務委託）

..... 548万円

・小坂小学校・小坂中学校楽器購入 ..... 232万円

・交流センターセパーム下水道接続 ..... 405万円

## ◇災害復旧費

・上向1号線 ..... 1,101万円

## 平成24年度一般会計補正予算（第3号）

833万8千円を追加し総額47億7,850万9千円に

— 衆議院議員総選挙関係の予算として —

# 平成24年度 一般会計補正予算 (第4号)

観光産業課長 生産数量の市町村間格差については、是正を県にお願いしています。県では、22年度で最大11・2%あるのを23年度からの3カ年度で2分の1に縮小する方針が出されています。25年度では格差が5・6ポイントまで縮小されることになっています。26年度以降については新たに示されるものと思います。

成田議員 韓国ドラマの収録はいつごろになるのか。マの話はいつごろから出たのか。内容と参加する市町村はどこか。

日本・秋田県でも放映があるのか。

観光産業課長 ドラマの名前は「アイリス2」で12月初めから撮影が始まっています。秋田のロケの予定は、1月20日過ぎから2月中旬までとなっています。日本国内での放送予定は聞いていません。

鹿兒島議員 鳥越線延伸バスの運行時期はいつか。

観光産業課長 20人から30人ほどの雇用が生まれるものと考えています。

成田議員 スクールバンドの楽器の取り替えの経過と目指して準備を進めています。確定しだい関係者に周知します。

内容について聞きたい。

教委事務局長 小学校はチューバとアルトホン、中学校はチューバとバスドラムの購入となっています。長年使用している間に補修しても音が戻らなくなったか、音が戻らなくなったか、また、小学校は七流小と一緒にすることから、楽器不足の事情もあり購入を決めました。



## 第6回定例会提出議案等一覧 (12/11~18)

- 秋田県町村電算システム共同事業組合の設立について (全員賛成で原案可決)
- 社会福祉基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について (全員賛成で原案可決)
- 小坂町営運動場条例の一部を改正する条例制定について (全員賛成で原案可決)
- 小坂町営運動場使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町一般会計補正予算 (第3号) の専決処分の承認を求めることについて (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町一般会計補正予算 (第4号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町介護保険特別会計補正予算 (第2号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町歯科診療所特別会計補正予算 (第1号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町菅原ヤエ奨学資金特別会計補正予算 (第1号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町下水道事業特別会計補正予算 (第1号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町小坂財産区特別会計補正予算 (第2号) (全員賛成で原案可決)
- 平成24年度小坂町簡易水道事業特別会計への繰入れについて (全員賛成で原案可決)
- オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求める意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 「教育費無償化」の前進をもとめる意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 地域経済活性化と雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 最低保障年金制度を消費税によらないで創設することを求める意見書提出について (全員賛成で原案可決)
- 平成25年産米における小坂町の生産数量目標の増加等を求める要望書提出について (全員賛成で原案可決)
- 地方財政確立と地域公共サービス充実を求める要望書提出について (全員賛成で原案可決)



# 委員会レポート

## 総務教育常任委員会

当委員会に付託された案件は、議案2件、陳情5件であり、議案はすべて可決、陳情は4件が採択、1件が継続審査となりました。

### 小坂町営運動場条例の一部改正

パークゴルフ場を中心とした「みんなの運動公園」を、小坂町営運動場の一つとして加えるとともに、指定管理者制度を導入しようとするものです。

### 小坂町営運動場使用料徴収条例の一部改正

「みんなの運動公園」新設に伴い、使用料金を設定するとともに、指定管理者制度を導入しようとするものです。

#### 陳情の採択

- ・ オスブレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求める陳情書
- ・ 「教育費無償化」の前進をもとめる陳情書
- ・ 「ゆき」といいた教育」の前進をもとめる陳情書
- ・ 地域経済活性化と雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書採択に関する陳情書

#### 陳情

- ・ 消費税増税の中止を国に求める陳情書

#### 継続審査

#### 陳情の採択

- ・ 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
- ・ 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書
- ・ 国に、生活保護基準の引き下げをしないことを求める陳情書
- ・ 最低保障年金制度を消費税によらないで創設することを求める陳情書
- ・ 平成25年産米における小坂町の生産数量目標の増加等を求める陳情書

### 福祉産業常任委員会

当委員会に付託された案件は、陳情5件であり、すべて採択されました。

# 一般

# 質問

## 12月定例議会

## こんなことを聞きました

### = 5議員が登壇 =

#### 1 2番 船水 隆一 議員

1. 「若者・雇用・定住」対策について
2. 町営バス運行について
3. 町長選挙について

#### 2 11番 小笠原憲昭 議員

1. 来春の町長選挙について
2. 定住促進対策について
3. 環境整備について
4. フッ素洗口への取り組みについて

#### 3 8番 鹿兒島 巖 議員

1. 子育て支援の具体策について
2. 社会教育について
3. 社会教育と社会福祉における施策の連携と調整について

#### 4 1番 成田 直人 議員

1. 小坂高校存続について
2. 来春の町長選挙について

#### 5 9番 本田 佳子 議員

1. 小坂町の医療体制について
2. LED照明の進捗状況





船水 隆一議員

## 少子化、土地住宅問題も含め、 町としての希望(夢)のある施策は 少子化及び定住促進対策に かかる検討チームの現状は



マリア園のありがとう訪問

船水議員 数回にわたり同じ質問をさせていただきますが、町としても最優先の課題でもあり、喫緊に町独自の施策をしなければならぬのではと思っております。そこで、「希望ある夢のある」考えを聞きたい。まず、一点目の「若者・雇用・定住等の対策」について伺います。今、町の政策としても、もっとも重要な課題であると毎回認識していますが、町長はどのような考えを持っているのか。また、少子化及び定住促進対策にかかる検討チームの現状も伺いたい。

町長 一つ目の若者の雇用と定住対策については、これまでの議会での一般質問でも答弁している通り、若者の雇用と定住対策については、さまざまな分野の施策を総動員して取り組んでいく必要があるものと考えています。

定住促進のためには、雇用の場の確保に加え、子供を産み育てやすい環境や良好な生活環境そして質の高い教育環境づくりに向け、ハード・ソフト両面からの総合的な施策を図ることによる魅力あるまちづくりの推進が不可欠です。これまでの子育て・保育、健康・医療、商工業・雇用、教育など各分野における施策と、これらの新たな施策を複合的に実施すること、若者定住、そして人口減少にできる限り歯止めがかかるよう努力してまいります。

次に、少子化及び定住促進対策検討チームの現状についてですが、昨年12月の定例議会での船水議員からの一般質問において、この検討チームに対して、私から各種施策等の提案を行うようご助言をいただいたところ。その後、その検討チームによる会合等は開催していませんが、来年度予算編成にあたり、定住促進のための助成制度、少子化対策、子育て支援施策の各課等の連携、若者向け住宅の整備等について検討を行うよう、各課等に私から直接指示をしています。

## 町長選挙について

船水議員 町民目線での町政が3年9カ月あまり経過しているが、今までの政策の自己評価を聞きたい。

町長 私は、町長就任以来、町民の意見に耳を傾け、町民の目線に立って、これらの諸課題に対して誠心誠意、全力で取り組んでまいりました。

すでに具体的な成果を挙げることができたものや成果を挙げつつあるものもありますし、また、未だ道半ばのものもありますが、町

船水議員 平成25年春頃には運行することであり、この件に関しては、地域の方々にとって本当に良かったなど感謝を申し上げたい。そこで今回は、大地上川原・藤倉等空白地域への運行の延伸について伺いたい。

町長 現在、町内事業所が運行している鳥越線について、3月には路線を延伸し、新路線での運行を開始する準備を進めています。本路線の運行開始により、始点・終点が「ほっとりあ」と「あ

が抱える課題の解決に向けた、私の取り組みの基本的な方向性自体は間違っていないものと考えています。再び町民の皆様のご支援をいただき、さらに4年間、町長として小坂町のために全力を尽くし、町民が小坂町に誇りを持ち、町民自身の手で小坂町の素晴らしいさを常に全国に発信したいという私の決意を申し上げ、再選出馬への想いを込めた答弁いたします。

かしあ荘」となり、轄地域も経由することから、これら地域を通過する地区にあっては、公共交通の空白が解消されることになりま。また、空白地域の解消に努めてまいります。具体的には、どの地域をどのような運行形態で行うかは未定ですが、鳥越線延伸の効果を検証しながら、公共交通の空白地帯の解消について、利用される方々の要望にお応えできるよう協議を重ね、その運行を目指してまいります。

## 町営バス運行について

### 空白地帯へ 延伸する考えはないか



# どのような町づくりをしようとするのか

## 町長 6つの大きな樹をめざして



小笠原憲昭議員

ち」です。

大きな樹から枝葉が伸び、開花するよう種々施策を実施し、小坂に住んで良かったと実感できる町づくりに全力を尽くしていきたい。成しえたこととしては、

**小笠原議員** 4年前に町民目線による町づくりという細越町政がスタートしたが、ポールがだんだんに空気が抜け縮んできたのではないかと。17年の町議としての知識見聞を活かして「はずむ町、活力ある町づくり」に取り組まれた。この4年間で、町長として成しえたこと、成しえなかったことはなにか。

**町長** 平成23年4月にスタートした「小坂町第5次総合計画」にある6つの大きな樹の目標が、町民目線の町づくり目標である「ともに支えあう元気なまち」「ひとのつながりを育むまち」「個性をみがき躍動するまち」「自然とともに生きるまち」「安心を実感できるまち」「ともに集い行動するま

**小笠原議員** 包み隠さず議会にも話をいただき、腹を割って意見交換、議論しあえる、そういう関係であるようお願いしたい。

### 定住促進について

**小笠原議員** 次に定住促進対策についてであります。人口減少、過疎化、少子高齢化については、早急に何らかの手を打たなければならぬ。町が将来に向けて有効活用するために先行取得するため設けた土地取得特別会計を廃止し、この所有している土地を町外から通勤している方々への住宅提供することは考えられないか。

**町長** 土地開発基金は主に普通交付税において措置され積み立てたものです。土地が7,661㎡、郷土館裏にあります。単身者向け及び子育て世帯向けの住宅整備を検討しており、この土地についても候補地になります。

### 環境整備について

**小笠原議員** 環境整備についてであるが、にぎわいづくりや町なか観光を進めるにあたり、美しい街並みづくりが必要でないのか。ありのままの姿といわれるが、尾樽部通りの廃業、閉店した店の看板や表示はそのままでもいいのか。観光客にとまどいや迷惑をかけることにならないか。康楽館協会の「明治百年通り協同組合」が所有管理運営しているとされる建物は、町の観光推進に本当に役立つているのか。

**町長** 明治百年通りにぎわい作りプロジェクトでは、既存の近代化遺産に加え、小坂鉄道レールパークの整備、国際交流広場に設置予定のにぎわい拠点整備によって、明治の鉱山町の街並みが再現されます。旧鉱山専用線軌道敷を利用したプロムナードの整備、町道古館停車場線の整備等で町内の回遊ルートが形作られ「町なか観光」の条件整備が進みます。そこに暮らす住民にとってはありふれた普通の街並みでも、観光

客の目には新鮮に映るとともに、町民やお店の方々のおもてなしの心によって町そのものを好きになってもらう、そのような観光スタイルです。

**町長** 町は日本で最も美しい村連合に加盟して美しい村運動をしています。地域住民が自分たちの身近な場所をまずは自分たちできれいにしようとするものです。尾樽部通りの看板等もはずしたりするようにしなければならぬと思うので、お願いしていきたい。

### フツ化物洗口について

**小笠原議員** 歯は健康の源でもあり、幼少期からの取り組みが虫歯予防に効果があるといわれているので、早急な取り組みができないか。**教育長** 現在、40都道府県でフツ化物洗口が行われています。町校長会で取り上げ、有効と判断したので、来年度から小学校・中学校で希望者を対象に実施したい。経費については保護者負担のない方向で考えています。

**小笠原議員** 生活環境の改善として道路整備の必要性を感じるが、整備計画はあるのか。**町長** 町道は1級、2級の幹線道路とその他3段階のランクになっており、実延長は154.4km。幹線道路が34%、その他66%となっています。必要性の高

いもの、優先順位を適切に判断しながら計画的に整備を進めていく方針です。**小笠原議員** 各町内会、自治会に自分たちの地域内の道路はどうあればよいか、絵を描かせ、提出させてみたらどうか。地域で共同生活する上で、将来の姿を自ら考えるきっかけにもなると思う。**町長** 計画を町に出してもらうことも一つの方法だと思おうので検討してみたい。





学習の成果を町民へ

## 子育て支援

### 義務教育無償化をめざし、保護者負担の軽減推進を

教育長 国・県の施策の流れを見ながら対応したい

### 就学援助制度の充実を

教育長 クラブ活動費・生徒会費・PTA会費を検討



鹿兒島 蔵議員

鹿兒島議員 少子化の進行は町の将来にとって深刻な課題であるが、子育て世代の抱える経済状態は改善されず、むしろますます先行き不安な状況となっていると言わざるを得ない。

義務教育費無償化への一定の取り組みは行ってきているが、まだ負担は大きい。施策の充実にむけてさらに取り組むことが喫緊の課題と考えるがどうか。

教育長 これまで、キャリアアップ学習教室、NRT・CRTなどの各種学力テスト、小体連・中体連加盟料、全県大会派遣費などは全額負担し、通学費を半額負担するなど、近隣自治体になりやすい施策で保護者負担の軽減に取り組んでまいりました。

また小中学校の再編、校舎の新築・大規模改修を進め、来年4月より新教育エリア構想をスタートします。構想を成功させるため

にはこれまで以上のソフト面の充実が求められますので、いまのところこれ以上の施策の充実は考えておりませんが、国・県の教育施策の流れも見ながら時代に合った教育ニーズに応えられるよう取り組んでまいります。

鹿兒島議員 就学援助制度は義務教育の無償化が実現できるまでの間、就学困難な状況への支援策として制度化されてきたものであり、国は平成22年度からあらたにクラブ活動費・生徒会費・PTA会費を援助対象とする方針を示しているが新年度から対象に加える事を決断いただきたい。

教育長 ご指摘にありました平成22年度から国が援助対象に加えたクラブ活動費、生徒会費、PTA会費については援助項目に含めることについて検討を始めたいと考えております。

## 社会教育の停滞化、形骸化が見られる。「人づくり」「まちづくり」の根幹として見直しを

教育長 専門家を育てながらコミュニティの維持に努めたい。

## 社会教育と社会福祉で施策の連携・調整が必要

教育長 町部局と調整してまいりたい。



日々を元気に

鹿兒島議員 社会教育法で「社会教育とは学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーション活動を含む）」をいう。」としているように対象範囲は本来非常に広範囲にわたる。

こういった分野に関わる専門的技術的な指導や助言を行うためにそれぞれの専門分野を担う専門職の配置を定めている。

当町でも専門職を配置し、まちづくりと人づくりに関わってきたところであるが、近年その位置づけが軽視あるいは曖昧化してきており、その結果社会教育そのものが停滞化、形骸化してきているように思えてならない。

社会教育そのものの位置づけと、まちづくり施策での位置づけをどのように考えるか。

町長 近年少子・高齢化や子どもをめぐる社会問題など様々な課題への対応が重要になっています。

こうした課題の解決に向けた学習活動を推進し、自立した住民の育成・支援を行う社会教育の重要性はま

すますます高まっています。

指摘のように社会教育にたずさわる職員の仕事は重要であり、助言の点は今後の職員採用とあわせ、教育委員会とさらに協議を行い検討してまいります。

鹿兒島議員 近年、社会教育特に生涯教育関連と社会福祉に関わる施策の重複や交錯などが散見される。

それぞれの組織などが一定の目的で施策を展開することで、その施策による効果が重層的に高まる事は歓迎すべきとは思いますが、必ずしも効果的とは思えない施策の重複や交錯があるのではないか。

町部局と教育委員会、あるいは社会福祉協議会なども加わっての施策の連携と調整を図ることが必要と考えるがどうか。

教育長 議員指摘のように、これまでそれぞれの分野だけ考えて担当する施策を進めていけばよかったです。連携することで効果的、効果的に実行できる施策も数多くあると考えます。

重複する部分については一元化又は連携していくよう町部局と調整してまいりたいと考えます。



# 当町の環境を活かした高校整備を

町長 全国から注目される高校を目指す



成田 直人議員

**成田議員** 秋田県教育委員会が策定にあたる（仮称）第7次秋田県高等学校総合整備計画（平成28～32年）に関し、鹿角3校において

は少子化の影響を受け2校に減じられる環境にあると想定される。

町では、「小坂高校発展支援協議会」を設置し、県教委に対する「小坂高校存続と発展」を旨とする陳情活動を毎年継続し行っており、その成果が出ることを心から望むところである。

一点目の質問は、県教委の第7次計画では「鹿角3校」の帰趨がどのようになると考えておられるか町長

及び教育長より所感を示したい。

町長 平成24年12月6日県教委・米田教育長に対し会長である私と小笠原議長、同窓会長の成田議員、振興会から会長の川口県議、また町民の代表者、町教委と総勢11名で高校の存続につながるように要望活動を致したところです。

米田教育長からは、鹿角地区の中学卒業生が24年度の339名から平成38年度

には255名に減る見込みであり、統廃合を進めている県内他地域の高校と同様に厳しい状況にあるとの説明がありました。

小坂高校志願者の定員割れが続けば、統廃合の対象になってしまうとのこと指摘を受けており、小坂高校が中学生にとって魅力的な高校であるための自助努力を促しながら、小坂高校発展支援協議会と町が強力にバックアップしていく重要な時期にあるものと考えております。

**教育長** 鹿角3校の募集定員は350名ですが、一歳児は265名であり、次期高校整備計画においては鹿角地域3校が再編統合等の

方向性で議論になるものと考えられます。

**成田議員** 小坂高校を存続するためには、町が策定している「新総合教育エリア構想」の実現を早期に具体化させることが最も重要なことであると考えているが、このエリア構想を継続・発展させ、県教委に対し、説得力ある「町のプラン」を提案する姿勢が必要ではないだろうか。

当町には、金鉱研・国際資源大学校・ジャイカ・ジョクメック、そして世界が注目する製錬技術、これら他に類を見ない当町の特性を有効に生かし、新たな小坂高校を構築することにより、内外からは熱い視線を

あびる「小坂高校の未来の姿」が確立されると思えます。県教委の第7次計画の策定に対し、小坂高校を存続させるためには平成25年度が勝負の年になると考えますが、上記の考え方に對し、町長として、政策的見地からどのような判断をされるのか伺いたい。

**町長** ご指摘の研究施設と高校がどういった連携が可能なのか、それぞれの意見を調整するコーディネーター役を町が果たして参ります。また、小坂高校が地域のオンリーワンの高校として全国から注目を集め、県外からも入学してくるような学校になれるよう支えて参ります。

このように、種をまく施策に取り組んできたことは、自分自身で評価できるものと考えておりますが、町の人口が6千人を割った現実を目の当たりにしますと、今後取り組むべき課題が山積していると感じております。

**成田議員** 十和田ソーラーが町外で操業されたことや放射能を含んだ焼却灰を昨年9月段階に受入表明したことなど、町長として議会への説明や意見聴取がされないままにおこなったことは議会軽視であり、自己評価にはこれらも本人の言葉として表明する必要があると考えますが、それがされないことは残念でなりません。次期選挙において、当町の発展につながる政策的見地からの構想は。

**町長** 総合計画にある「元気・つながり・躍動・自然・安心・行動」をキーワードとしたまちづくりを目指して参ります。



米田教育長への要望活動

## 町長選挙への出馬は

**成田議員** 町長選挙に対する立候補は。

**町長** 再び町民の支持を得て、町長の任にあたる機会を与えていただくべく、町長選への出馬を決意しております。

**成田議員** 平成21年 町長就任以降これまでの自己評価は。

**町長** おかげさまで、新総合教育エリア整備は来年4月から小中一貫教育がスタートし、旧小坂鉄道の活用を中心とした「明治百年通りにぎわい創出事業」も緒につきました。

また、「子育て・保育」「健康・医療」「商工業・雇用」「教育」など各分野においても、新たな施策をスタートさせることができました。これら施策は、即効性がないものであっても、将来において必ずや実を結ぶものと信じております。

このように、種をまく施策に取り組んできたことは、自分自身で評価できるものと考えておりますが、町の人口が6千人を割った現実を目の当たりにしますと、今後取り組むべき課題が山積していると感じております。

**成田議員** 十和田ソーラーが町外で操業されたことや放射能を含んだ焼却灰を昨年9月段階に受入表明したことなど、町長として議会への説明や意見聴取がされないままにおこなったことは議会軽視であり、自己評価にはこれらも本人の言葉として表明する必要があると考えますが、それがされないことは残念でなりません。次期選挙において、当町の発展につながる政策的見地からの構想は。

**町長** 総合計画にある「元気・つながり・躍動・自然・安心・行動」をキーワードとしたまちづくりを目指して参ります。



# 現在の町の医療体制についてどのようにお考えか

町長 診療医の負担を軽減するためには連携する  
拠点病院の医師不足を解消することが先決と考える



本田 佳子議員

化に歯止めがかからず町民も大変不安になっている。毎年、約1000人近く人口が減少している現況に拍車をかけることになる。町の医療体制についてどのようにお考えか。

**本田議員** 小坂診療所が開設されてから、今年で15年経過した。荒川先生の所長になってから9年ほど経ち、その間、町民の健康を守り献身的な診療によって、私たちの命を守っていただいている。しかしながら、医師一名に対しての業務体制があまりにも過酷な状況であり、緊急を要する場合では、必然的に別の医療機関や医師の応援が重要となる。小坂町の福祉施設等の維持・管理では、嘱託医が必要であり、医療機関、医師を増やさなければ、難しい。また隣接する市の医療機関との連携が不十分なため、安心して十分な医療を受けられない事例があり、このままでは少子高齢

形で小坂町出身で、開業医・医師になるために大学へ進んだ方を探し出し、好条件をつけるなどして地元で働いていただくようにお

願いしたり、該当者がいない場合は出身者に限らず幅広くインターネットなどで呼びかけてみることや、また、時間はかかるが、町から医師を志す学生がいたならば、町に戻って来ることを条件に町独自の奨学金を出すなどして、医師になるための手助けを行い、何かの理由で戻って来れない場合は返済するなどのシステム

ムを作るなどいろいろな方法や対策を考え、試みてはどうか。町として関わることの出来る範囲で協力していけないものか。

一気に進められず、何年か、かかる状況です。  
**本田議員** LED照明への切り替えとなると、照明器具が高価なため導入できても、初期費用は重い負担となるようですが、逼迫する電力事情と省エネ対策を推進するために、その一つの手法として、民間資金を活用したリース方式というものがある。民間資金を活用したリース方式を活用することによって新たな予算措置をすることもなく、電気料金の節約分を可能とするもので、初期費用も抑制され、自治体の財政負担も軽減される。さらに電力消費量も抑えられ、節電とコストダウンを同時に実現できる。また、地域の業者を使うことで地域活性化にもつながる。

**町長** 診療所の医師に過重な負担がかかっていることは十分認識しています。医療体制のあり方として新たな開業医を望むところですが、町村レベルでの開業医の確保は難しい状況です。拠点病院とする総合病院の医師不足の問題が、かかりつけ医との連携に影響を及ぼしていると聞いています。町としては、診療医の負担を軽減するためには連携する拠点病院の医師不足を図ることが先決と考えることから、県や鹿角市、県厚生連と共に大学の医局に拠点病院への医師派遣の要請活動を行っているところです。

**本田議員** 町営の医療機関がないため、町も協力する

**町長** 平成22年度から秋田県地球温暖化防止等臨時対策基金による補助事業として、CO<sub>2</sub>排出削減に貢献するために取り組んだ事業であり、現在、町で管理している1,150基の街灯のうち中央地区の305基、全体の26%をLED照明に切り替えております。

**町民課長** 残り805基で一灯あたりの単価が8万円、9万円と高く、予算確保が難しい。コスト削減のメリットがあると判断した場合、そのような方向で考えていきたい。

**総務課長** 公共施設の照明について、そのような手法があるのを知りておりません。コスト削減のメリットがあると判断した場合、そのような方向で考えていきたい。

## 具体的にどの程度、公共施設・街灯がLED照明に交換されているか、進捗状況をお伺いします

町長 中央地区の305基、全体の26%をLED照明に切り替えております



# 第17回町議会報告会 地区要望と当局回答

平成24年11月28日～30日まで開催

## 七滝地区・中央地区

1. 高齢者の安否確認について。一人暮らし高齢者に緊急通報システムの内容を知らせてほしい。
  - ・町では、小坂町社会福祉協議会に事業の一部を委託する形で、緊急通報装置給付・貸与事業を実施しております。この事業は、おおむね65歳以上の高齢者や身体障害者だけの世帯を対象に、緊急通報装置(ふれあい安心電話)を貸与し、急病や災害等の緊急時に迅速な対応ができるようにするものです。この装置は、緊急通報用の本体・受信機・ペンダント・火災報知器がセットとなっており、非常ボタンを押したり火災報知器が作動したりすると、あらかじめ登録した緊急時の協力者などへ通報されるものです。また、何か相談したいことがあったときなどに使用できる相談ボタンも付いていて、日常の相談や話し相手など安否の連絡にも使用できるようになっています。ただし、ペンダントの非常ボタンの受信距離は、おおむね25メートルですので、その範囲内での使用となります。利用に当たっては、月額600円の利用料と5年ごとの電池代の自己負担のほか、緊急時の協力者を選んでもらうこととなっています。利用の相談や問い合わせは、小坂町社会福祉協議会(みんなのお家だんらん・☎25-8020)のほか、ゆーとりあ内の包括支援センター(☎29-2950)、町民福祉班(☎29-2400)、各地区の民生児童委員にお気軽にお申し出ください。(町民課 町民福祉班)

## 十和田湖地区

1. 大川沢の堰堤上部にハンノキが密集しており、大水が出ると決壊の恐れがあるので除去してほしい。
  - ・ゲリラ豪雨が発生した場合、現状のままでは旧カルデラ入口にある堰堤を越流して、土砂が右岸側に流れてくるのではないかと不安であるとのことでした。会長さんとも話をしましたが、雪が消えてから県を含め三者で現場を確認することといたしました。(建設課 建設班)
2. 西湖畔遊歩道の崩落箇所を修復してほしい。
  - ・西湖畔遊歩道は県設置施設であり、町は県と管理協定を結んで日常の維持管理を担っています。近年、路肩の崩落が目立っており、逐次、県と連絡調整を行いながら立入防止柵などの処置を実施しているところです。遊歩道の崩落は、鉛山・1カ所、大川岱のプリンスホテル沿い・1カ所、大川沢手前・数カ所に渡っています。県では、平成24年度事業として大川岱地区の現地調査を実施しましたが、25年度中には大川岱地区の路肩修復と崩落防止工事を実施する予定との回答を得ています。しかしながら、沿線には崩落防止の処置を施す必要のある箇所が散見しており、地域の方々や関係機関の意見もお聞きしながら、西湖畔遊歩道の整備について引き続き県と協議してまいります。(観光産業課 観光商工班)
3. 国道454号の危険箇所(大川岱側の現在工事中の信号機のある箇所)を整備してほしい。
  - ・道路管理者である秋田県に確認した結果、「現在、環境省と協議を行っているが、相当難航している。気にかけてはいるが環境省の協議が整わないとどうしようもない。」とのことでした。町としても八戸市が事務局となっている「国道454号整備促進協議会」があるので、協議会にも話をしたいと考えています。(建設課 建設班)
4. 休平の成田弥次郎宅前に街灯を設置してほしい。
  - ・1月10日、現地を確認した上で自治会長と協議を行い、付近の住民が不在となったことから、街灯を設置する必要はないことを確認しております。(町民課 生活環境班)
5. 発荷峠第1トイレの汚れがひどい。女子の便器は洋式が一つしかなく、水の流れも悪い。観光客から悪評なので建て替えてほしい。
  - ・十和田湖畔の県設置の公衆トイレは発荷峠に2カ所、大川岱園地に2カ所、休平に1カ所あり、町は日常の維持管理を担っています。ご指摘の発荷峠第1トイレは平成4年に建設されたもので、築20年を経過し、設備の老朽化が進んでいます。女子トイレは6基で内洋式は1基となっており、ほとんど和式のため汚れが目立つ状況にあります。清掃は国立公園協会が委託を受けて実施しており、けっして清掃がおろそかなわけではありません。汚れが目立つ要因として水量が少ないことがあります。発荷峠には、元々、上水道設備がないため自然湧水(沢水)を水源としていますが、季節や天候によって水量が変化し、また水質が酸性のため配管等設備の腐食も進んでいます。町では、設備業者の意見も聞きながら、抜本的な改修を前提に県と協議を進めていますので、いましばらく時間をいただきたいと存じます。(観光産業課 観光商工班)



## 十和田湖地区のつづき

### 6. 子ノ口から滝ノ沢までの東北自然歩道を通行できるようにしてほしい。

- ・東北自然歩道は町の管理施設ではありませんが、県に対しては改善策を講じてくれるよう要望しています。しかし、東北自然歩道の当該区間は青森県が事業実施して整備したものであり、秋田県として整備する計画はないとの回答を得ています。

町としては、県境確定交付金事業にかかる青森県・秋田県・十和田市との4者協議の場を通じて、東北自然歩道の整備のあり方について話し合いを進めるほか、事業実施者である青森県に対して整備を要望してまいりたいと考えています。  
(観光産業課 観光商工班)

### 7. 十和田湖への光ファイバー導入について、町からNTTに要望してほしい。

- ・十和田湖地区については、平成19年にADSLによる高速・大容量のデータ通信網をNTTが整備をしたところですが、さらに高速・大容量のデータ通信によるサービス提供が可能な光ファイバーを導入している地域と比較した場合に情報格差はあるという認識をしております。

光ファイバー導入については、当町十和田湖地区だけでなく十和田市休屋地区など近隣地区の動向も把握する必要があります。また、光ファイバーはADSLよりも整備コストが大幅にかかると言われており、NTTの導入判断が難しい場合に自治体が支援する方法も考えられますが、その必要性の可否について隣市等と歩調を合わせる必要があります。早期の実現は難しいと考えています。

一方で、情報通信に関する技術の進歩はめまぐるしく変化しており、近年携帯電話等で使用される電波を効率よく使った新しい技術による高速通信網の整備・提供が始められています。この技術は光ファイバーの性能に迫る情報量の送受信が可能であると聞いており、携帯電話事業者の動向も注視する必要があります。

十和田湖地域におきましては、地域住民のほか観光客も多く訪れますので、様々な方々が快適に使用いただけるような情報通信網整備が必要と考えております。昨年、十和田市・三沢市と関係町村とで定住自立圏形成協定を締結しましたので、この場を通じながら当町の対応を検討して参ります。

(総務課 企画財政班)

## 川上地区

### 1. 国道282号の矢柄平から濁川間の道幅が狭く危険なので拡幅してほしい。また、一の渡橋、砂子沢橋に歩道橋をつけてほしい。

- ・道路管理者である秋田県に話をしたところ、歩道橋を設置してほしい等の要望は初めて聞くので、雪解け後にも状況を確認したいとのことでした。  
(建設課 建設班)

### 2. 国道282号の矢柄平にある温度計の表示が消えている。ソーラーだと電気がすぐ切れるので直電でお願いしたい。表示も片面だけでなく両面にしてほしい。

- ・このことについても県に話したところ、「不具合については調査の上、対処したいが両面表示は無理である。」との回答を得ております。  
(建設課 建設班)

### 3. 雪でし字側溝がつまるので、丸みをつけてスムーズに流れるよう改良してほしい。

- ・本来、流雪溝を目的とした構造ではないため、直角交差の状況になっていると思います。線形を変えらるとなれば、用地関係者および水路関係者と協議しなければなりませんので、雪解けを待って協議したいと考えております。  
(建設課 建設班)

## 上向地区

### 1. 長沢地区への町道のうち、カーブになっていて狭い箇所があるので、事故防止の観点からも拡張などの改善策を早急に取ってほしい。

- ・大森から長沢入口間は、地形が急峻な区間であるので、拡張改良は無理と考えます。ある程度見通しの確保できる区間に待避所を検討したいと考えております。  
(建設課 建設班)

### 2. 鞆の会館前から大森に抜ける町道の整備をお願いしたい。

- ・舗装の状況が悪いとのことですので、融雪後に状況を確認したいと思います。(建設課 建設班)

### 3. 鞆入口から藤原地区に抜ける道路は、生活道路であると同時に産業道路でもあるので早急に改修してほしい。

- ・昨年夏の豪雨により、一部路肩が決壊したため危険と判断し、通行止めとしている状態で、皆様には大変ご迷惑、ご不便をお掛けしております。国の災害査定も終了しましたので、年度内の発注で雪解け後、早々に開通させたいと考えております。  
(建設課 建設班)

### 4. 雨が降るとアカシア大橋あけぼの側に多量の水たまりができ、走行上危険なので改善してほしい。

- ・貯まり水の状態を確認しました。冬期になると車道と歩道を分離している境界ブロックが隠れてしまうことから、車道内の水が行き場が無く滞水するものであります。その状況を確認した場合は、水が流れるよう対処したいと考えております。  
(建設課 建設班)

### 5. 鳥越地区から鞆地区への入口をT字路状態ではなく、元の緩やかな入り方に冬期間だけでもしてほしい。

- ・今の形状に変更したのは、警察署との協議の上、構造を変えたものであります。交通安全の観点から、今の形になったものでありご理解願います。  
(建設課 建設班)